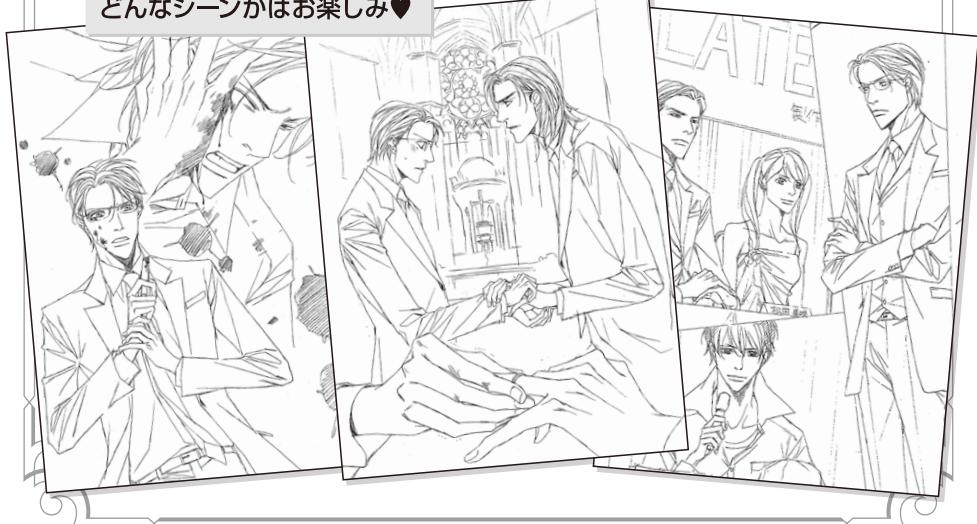


秘蔵ラフ公開



立ちているだけで惹きつけられるカリスマ性が、
このラフの段階でも伝わってきます。

魅惑的で冷たい眼差しのアップと少し柔らかい表情のロング。
このギャップがいいですよね。



本文ラフも一部公開!
どんなシーンかはお楽しみ♥

先生お気に入りのシーン

ふゆの先生のお気に入りシーンを
ちょっとだけ掲載しちゃいます♡

「engage 1 君だけを愛す」より

祭壇近くの懺悔室がひとつ、鍵が開いていた。

中を覗くとかなり狭い。

永見は興味深そうに中を覗いている伊闇の手を

掴み、中央祭壇のすぐ前の長椅子に腰かけた。

胸の前で手を組み目を閉じる永見の横顔を見な

がら、伊闇は旅行の前に買ったものを思い出さ

いつでも渡せるようにと持ち歩いていたそれを

バッグの中から見つけ出すと、組んでいる永見の

左手を自分の方に引き寄せた。

「拓朗?」

訝しげな表情を見せる永見を無視し、伊闇は彼の左手の薬指に、散々店員に揶揄わながら選んだ指輪をはめる。

見の掌に同じ指輪を載せて左手を差し出す。口を

彼の耳元に寄せ、耳朶を譽めるように囁く。

「潔。俺の指にも」

永見はまだ大きく目を見開いたまま、伊闇の言葉に従つて指輪を持つが、手が震えて駄目だった。

「震えが止まらない」

縋るような瞳を向ける永見に伊闇は笑いかける。

「じゃあ……手伝う

震えを抑えるため永見の手に自分の手を添える。

指輪に自分から指を差し入れ、お揃いの金と銀のコンビのシンプルな指輪が二人の左手の薬指にはまるが、永見の指輪はサイズが少し大きいようだつた。

「やつぱり、指の握り具合じや、きちんととした号数は買えないな」

永見の左手の薬指でぐるぐる回る指輪を眺めながら、伊闇はしみじみ呟く。

「これつて……マリッジリング。

『指輪欲しいつて、言ったよね。本当は潔が欲しいのを一緒に選びに行こうかと思つていたんだけど、つい目に入つたんだ……。実は、名前入り』

照れくさそうに伊闇は何度も鼻の下を擦つて、自分の指輪を外して内側を見せる。

『DEAR K.NAGAMI FROM TAKURO, WITH LOVE』

『本当は潔つて名前を入れたかったんだけど……これが精一杯だつたんだ』

それはそうだろうと思う。宝飾店の店員が伊闇の顔を知らないことなど絶対あるはずがなく、ついこの間、一緒にCMに出演したアイドルの松田美咲と写真週刊誌で騒がれたばかり。その超人気俳優である伊闇拓朗が、よりもよつて『マリッジリング』を『名前入り』で買いにきたとあっては、それこそ店の中がひっくり返るくらいの大騒ぎになつただろう。おまけにその名前が男名であったらなおのこと。

心底残念そうな顔をする伊闇の様子に、永見は小さく噴き出す。

「え……おかしい？」

慌てる伊闇がおかしくて愛しくて、キスをした

次号では3巻を大特集、
絶対に見逃せないよ♪